

広島修道大学のアドミッションポリシー

国際コミュニティ学部

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

国際コミュニティ学部は、様々な入学試験制度による選抜を通じて、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を受け入れます。選抜過程では、国際社会と地域社会に通底するダイナミクスを理解し、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し解決していくための資質と能力を備えているかどうかを判断します。

国際コミュニティ学部が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1)知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能。具体的には、地域社会や国際社会のダイナミクスへの関心や問題意識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能、論理的に思考・表現する際の基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションの基礎となる英語の知識。

(2)思考力・判断力・表現力

社会の持続的発展や平和の実現のために文献を読解し、それをもとに自ら考察できる思考力・判断力と、その考察を論理的かつ説得的に示す表現力。

(3)主体性など

多様な人々とのコミュニケーションを通じて社会における相互理解を進め、様々な人々との協働を通じて国際社会・地域社会が抱える課題の解決に向けて取り組む能力。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。さらに、英語は国際社会を理解し世界の人々とつながるために必要です。

2. 国際コミュニティ学部の教育を通じて養う能力

国際コミュニティ学部のディプロマ・ポリシーに掲げる目的を実現するために必要な知識と技能を習得し、課題発見・課題解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

国際政治学科

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

国際政治学科は、様々な入学試験制度による選抜を通じて、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を受け入れます。選抜過程では、地域社会と連動する国際社会の政治的ダイナミクスを理解することで、日本と世界各国・各地域との架け橋となろうとする志向を備えているかどうかを判断します。

国際政治学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1)知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能。具体的には、コミュニティ間のグローバルなつながりから社会をとらえる視点と国際的な政治・文化・歴史への知識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能、論理

的に思考・表現する際の基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる英語の知識。

(2)思考力・判断力・表現力

政治的・社会的な出来事や問題に気づき、その事象や問題を理解するために文献を読解し、それをもとに自ら考察する思考力・判断力、その考察を論理的かつ説得的に示す表現力。

(3)主体性等

多様な価値観の共存を探りながら、主体性を持って人々とつながりを生む能力。同時に自らの意思を明確に表明しつつ、様々な国の人々と協力して課題解決を目指す能力。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語・英語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、日本や世界の国々に関する様々な本を読むこと、多様な体験をしてみることを勧めます。

2. 国際政治学科の教育を通じて養う能力

国際政治や世界の国々に関する知識を習得し、国際共通語である英語の力を伸ばし、社会における課題の発見及び解決を目指すことのできる能力、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

地域行政学科

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

地域行政学科は、様々な入学試験制度による選抜を通じて、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を受け入れます。選抜過程では、国際社会と連動する地域社会のダイナミクスを理解し、政治・行政・政策の知識をもとに地域社会の発展に貢献する志向を備えているかどうかを判断します。

地域行政学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1)知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能。具体的には、ローカルなコミュニティの有り様から社会をとらえる視点と政治・行政や生活者としての知識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能、論理的に思考・表現する際の基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションの基礎となる英語の知識。

(2)思考力・判断力・表現力

政治や社会の問題を解決するために文献を読解し、それをもとに自ら考察する思考力・判断力、その考察を論理的かつ説得的に示す表現力。

(3)主体性等

多様な価値観の共存を探りながら、主体性を持って多様な人々と人間関係を創造する能力及び自らの意思を明確に表明しつつ相互理解を図り、地域と協働して課題解決を目指し、社会の発展に貢献する能力。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるた

めに、日本や世界の地域社会に関する様々な本を読むこと、多様な体験を試みることを勧めます。

2. 地域行政学科の教育を通じて養う能力

政治学、行政学、政策学等に関する知識を習得し、地域の価値・魅力に気づく力を伸ばし、社会における課題の発見及び解決に取り組むことのできる能力、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。